

「室蘭グリーンエネルギータウン構想と 水素社会実現に向けた取り組み」



室蘭市の概要



※人口・面積：日本の統計2016(総務省統計局)



1. 背景及び目的

(1) 構想策定の背景

- ・ 室蘭市は、鉄鋼業を中心に蓄積された高度な産業技術や人材・企業による突出した工業・港湾物流基盤と大学等の研究開発機関を持つ、「ものづくりのマチ」として発展
 - ・ 平成15年度に「**室蘭地域環境産業拠点形成実施計画**」を策定
→リサイクル資源循環型や低炭素な都市形成のため、産学官連携による環境産業を振興
 - ・ 平成22年度に上記計画の終了に伴い「**今後の環境産業拠点形成の方向性**」を策定
 - ・ 世界的な地球温暖化対策や東日本大震災以降のエネルギー問題への対応の必要性
- ↓
- ・ 「地域の自立性」、「地域経済の活性化」、「産業振興」、「災害時の防災機能の強化」などが期待できる**新たな低炭素都市形成につながるエネルギー構想の必要性**を認識
- ↓
- ・ 平成26年度に、「パブリック・インボルブメント」により、産学官民が連携して「環境産業の推進」・「地域経済の活性化」・「低炭素なまちづくり」の実現を目指す「**室蘭グリーンエネルギータウン構想**」を策定

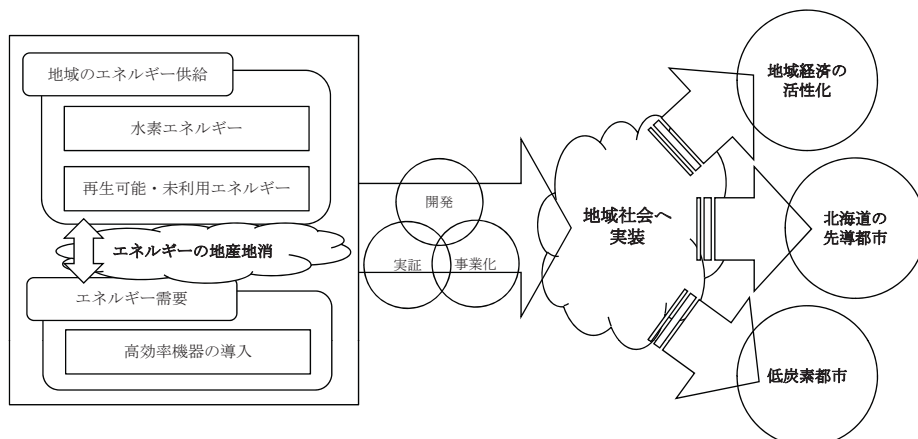


1. 背景及び目的

(2) 構想策定の目的

グリーンエネルギーの地産地消や地元企業の新技術・システムなどの地域社会への実装に向けた開発・実証・事業化とその先進性の発信を通じて、次の三項を実現すること。

- 環境産業都市としての新たな成長基盤の創出による地域経済の活性化
- 北海道の次代のエネルギー社会構築に向けた先導的役割
- 環境負荷の低減と市民にやさしく住みよい低炭素都市の創造



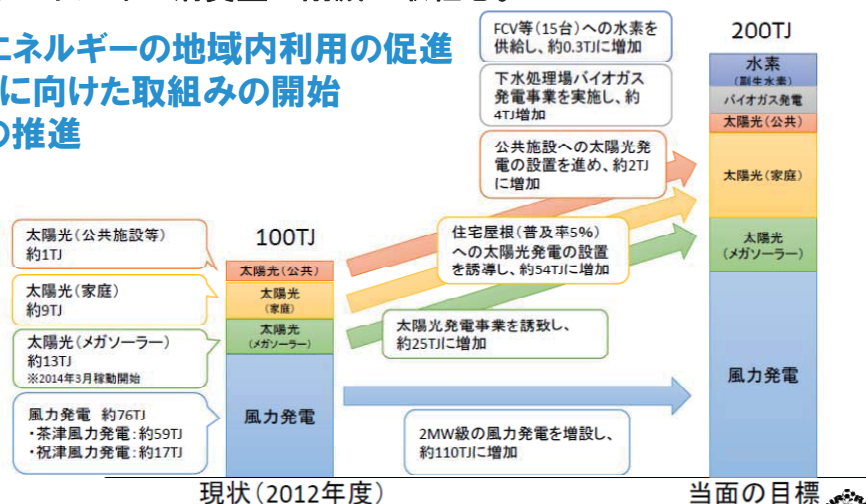
2. 実現に向けた当面の目標

(1) コンセプトと当面の目標

「グリーンエネルギーの地産地消を進める低炭素の先進都市」をコンセプトに、当面の目標年度を2020年度として、グリーンエネルギーの普及拡大と地域特性に応じた最適な利用によるエネルギー消費量の削減に取り組む。

- 再生可能・未利用エネルギーの地域内利用の促進
- 水素利用社会構築に向けた取り組みの開始
- 省エネルギー対策の推進

2020年までに
グリーンエネルギー
導入量を現状の
2倍に増加



2. 実現に向けた当面の目標

(2) 目標の達成に向けた取組



3. 水素利用社会の構築

(1) 具体化に向けた取組メニュー

※取組メニューは技術開発の動向等を踏まえ、適宜、改訂

- COG由来の副生水素や再生可能エネルギー由来の水素の製造・供給
- 水素の地域での利用に向けた貯蔵や搬送システムの構築
- FCV等へ水素を供給する水素ステーションの整備
- 住宅や施設等への水素供給導管等の整備
- 排熱を給湯や暖房に利用できる総合効率の高い定置式燃料電池の導入
- 研究・技術開発機会の創出に向けたコンソーシアムの構築など

3. 水素利用社会の構築

(2) 移動式水素ステーションとFCV



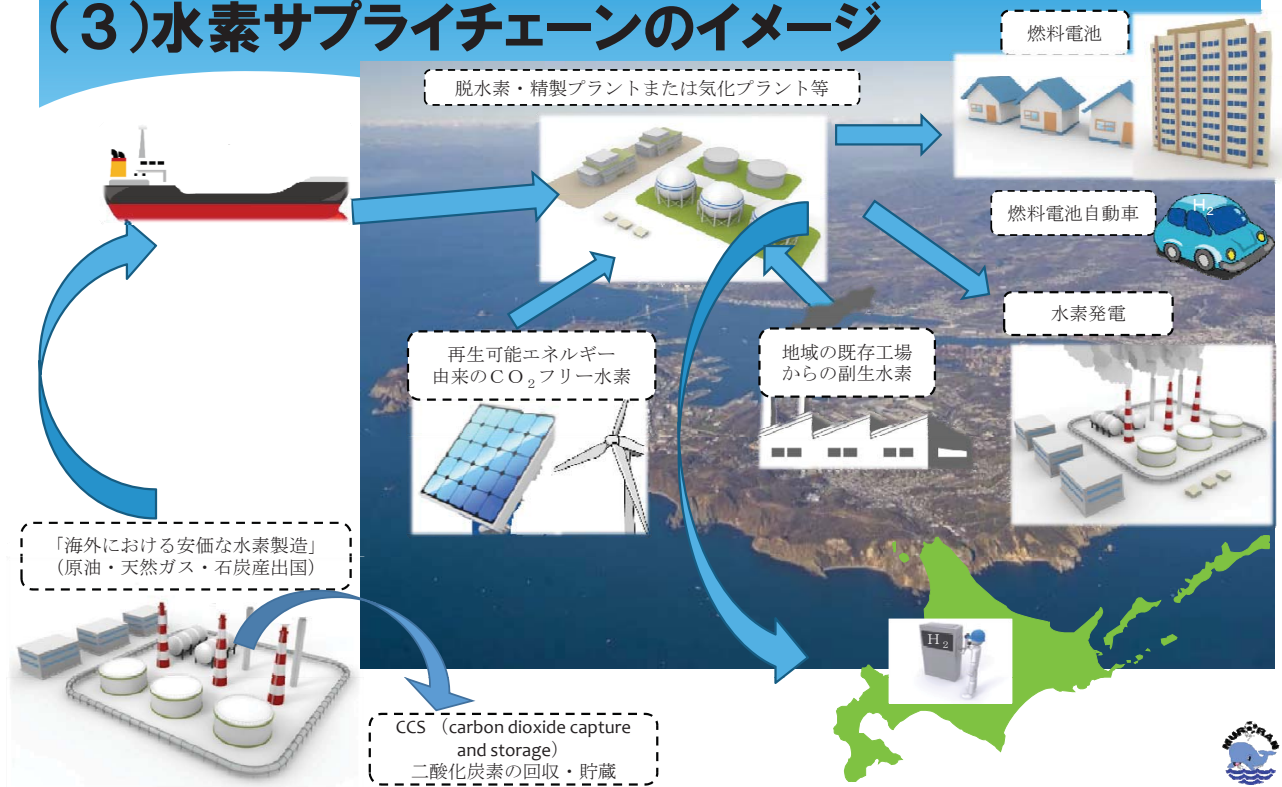
3. 水素利用社会の構築

(2) 移動式水素ステーションとFCV



3. 水素利用社会の構築

(3) 水素サプライチェーンのイメージ



3. 水素利用社会の構築

(4) 水素利用の展開に向けて



ご清聴ありがとうございました

